

日商簿記3級検定試験

100%合格目標

無料講座

第1回 概要

公認会計士・税理士・AFP

依田重夫

1、「日商簿記3級検定試験100%合格目標無料講座」 概要

「日商簿記3級検定試験100%合格目標無料講座」 概要

今回、ビジネスパーソンの方々をはじめとして、日商検定試験を受検される方または受検しようと思っいらっしゃる方のために、「日商簿記3級検定試験100%合格目標無料講座」を開設することにいたしました。

(注) この本では、すべての練習問題を掲載できませんので、練習問題は、以下のURLへアクセスを、お願い致します。

<http://www.geocities.jp/kateikessan/bokikenntei/bokikenntei.html>

(公認会計士・税理士・AFP 依田宣夫)

次回 第138回日商簿記3級検定試験

平成26年11月26日(日)

第137回日商簿記3級検定試験

平成26年6月8日(日)

受験者数・合格率

	第137回 平成26年6月8日(日)	第136回 平成26年2月23日(日)	第135回 平成25年11月17日(日)
受験者数	101,574名	99,368名	119,736名
実受験者数	78,726名	75,049名	93,781名
合格者数	37,824名	30,690名	45,054名
合格率	48.0%	40.9%	48.0%

出題の意図

<http://www.kentei.ne.jp/bookkeeping/137-03ito.pdf>

解答速報

(ご参考)

資格の大原 <http://www.o-hara.ac.jp/sokuhou/boki/>

LEC <http://www.lec-jp.com/boki/juken/>

TAC <http://www.tacschool.co.jp/sokuhou/boki/nissho.html>

第137回日商簿記3級 検定試験 出題の意図

[第1問]

(出題の意図)

3級の学習範囲内の取引についての仕訳問題であり、基本的な事項を理解していれば解ける問題です。解答に際しては、指定した勘定科目を使用することが必要となります。

1. 当座借越の状態でご座預金へ預け入れたときの仕訳を問う問題です。次のことが理解できているかどうかポイントになります。

①他人振出しの小切手は、簿記上現金として扱う。

②当座借越を全額返済し、残額が当座預金になる。

2. 収入印紙と郵便切手を購入した際の仕訳を問う問題です。郵便切手の購入は通信費勘定(費用)で処理しますが、収入印紙の購入は税金の納付にあたるので租税公課勘定(費用)で処理します。

3. 間接法で記帳している備品を売却したときの仕訳を問う問題です。次のことを理解しているかどうかポイントになります。

①備品に関する勘定は、備品勘定と備品減価償却累計額勘定の2つである。

②売却時点では、備品勘定の借方に取得原価、備品減価償却累計額勘定の貸方に減価償却費の累計額が記録されている。

③売却したとき、備品勘定と備品減価償却累計額勘定をゼロにするため、それぞれの勘定の反対側に残額を記録するための仕訳を行う。

④固定資産の売却にともなう売却代金の未収額は未収金勘定で処理する。

4. 先に受け取った得意先振出しの約束手形を銀行で割り引いた際の仕訳を問う問題です。

5. 仮受金の内容が明らかになったときの仕訳を問う問題です。次のことが理解できているかどうかポイントになります。

①内容不明の入金は仮受金勘定で処理する。

②仮受金の内容が明らかになったときは、仮受金勘定から該当する勘定に振り替える。

③得意先から受け取った手付金は前受金勘定で処理する。

[第2問]

(出題の意図)

本問は、総勘定元帳における統制勘定としての売掛金勘定と、補助元帳とし

ての得意先元帳(売掛金元帳)との関係について、理解しているかを問う問題です。売掛金勘定は、企業全体の売掛金の増減を記録していますが、顧客ごとの売掛金の金額を示していません。そこで、顧客ごとの売掛金の内訳明細を記録するための補助簿(補助元帳)として設定されるのが得意先元帳です。この得意先元帳を顧客ごとの与信管理に役立てる一方で、企業全体の状況は、統制勘定である売掛金勘定を見れば把握することができるのです。

ただし、本問では得意先元帳の記入よりも、その内容を読み取することを重視して、得意先元帳の記入内容を問題に示しています。そのうえで、どのような取引が行われたのか理解し、それを売掛金勘定に記入し、勘定の締め切りを行うところまでを出題しました。

なお、出題にあたっては、金額を推定する箇所は一箇所も設けないように配慮しました。

[第3問]

(出題の意図)

本問は、平成26年4月30日の残高試算表に同年5月中の取引を加減して、5月末日の残高試算表を完成させる問題です。

試算表の作成に関する問題としては基本的な問題です。集計ミスに気がつけながら、スピード感をもって解答することがポイントになります。

5月中の取引については、次の取引に注意しましょう。

6日 前期に発生した売掛金が貸倒れになったときは、貸倒引当金を取り崩します。

9日 所得税の源泉徴収額とは、従業員から預かった所得税のことであり、所得税預り金勘定で処理されています。

14日 注文時に支払った手付金は前払金勘定(資産)の借方に記帳されるので、手付金を相殺したときは、前払金勘定の貸方に記帳します。

30日 店主個人の住居にかかわる支出は、事業とかかわりのない取引であるため、費用(支払家賃)として処理せずに、純資産(資本金)の減少として処理します。

[第4問]

(出題の意図)

本問は、資金の借入れに伴い生じる利息の発生に関する問題です。勘定記入面から取引の流れを読み取り、仕訳を推定します。勘定記入と仕訳の関係は一体となって理解されている必要があります。よって、本問は勘定記入面から仕訳を推定させることを目的に出題しました。

勘定記入の中には「？」が数箇所ありますが、その推定にあたっては、時間の流れとともに必要とされる仕訳を考える必要があります。解答にあたっては、その流れを把握できるように、日付ごとに取引項目を示しました。正しい方法で学習されているならば、本問は容易に解けたと思います。本来は、時間の流れとともに発生する処理を自ら考えることが大切ですので、今後、問題と向き合う際に心掛けてみてください。

[第5問]

(出題の意図)

本問は、精算表の作成を通じ、決算整理から財務諸表の作成までの一連の流れを理解しているかを問う問題です。過去の検定で出題されている形式と同じく、まず[未処理事項]の処理を行ったうえで、[決算整理事項]に移行します。未処理事項は約束手形の決済と有価証券の売却の2つですが、約束手形の決済に伴い売上債権の金額が減少しますので、決算整理において、貸倒引当金の繰入額に影響を与えることになります。

有形固定資産の減価償却については、残存価額がゼロの備品と取得原価の10%の建物が存在します。平成19年度税制改正以後、残存価額をゼロとして減価償却を行うことが認められるようになったことを受けたものですが、本問の建物はそれ以前に取得していることが前提になっています。

また、本問では引出金の期末における処理も問いました。期中において資本の引出しがあり、引出金勘定を用いて処理していた場合には、決算整理事項として資本金勘定に振り替えることが必要になります。

さらに、今回は、定期預金の利息の見越し計上も出題しました。収益の見越しはこれまで毎回のように出題されていますが、定期預金の利息は初めて見る問題でしょう。実際、すぐに支払う予定でない資金を定期預金として銀行に預けているのが一般的ですので、このような決算整理は頻繁に生じることになります。金利も実際の利率に近い年0.3%で出題しましたが、今回は利息であることを考慮して、1年を365日とする日割計算で行うことにしました。

「はじめに」

複式簿記は、ビジネスパーソンの常識です！

社会人になると、「会社では、せめて簿記3級程度の知識が必要だよ」と、よく言われます。それは、会社の行為のすべてが簿記と関係しているからです。会社は、複式簿記を利用して、毎年、財務諸表という決算書を作成し、多くの利害関係者の人たちに開示しています。

会社を作る財務諸表という決算書には、ビジネスパーソンとして行動したことのすべてが、一年間の会社の事業報告書として、記載されています。

この決算書を作る考え方の基礎は、複式簿記です。複式簿記の考え方に基づいて決算書が作られています。したがって、複式簿記の知識は、会社に関係している人の「基本」であり、「常識」でもあると言えます。

今は、複式簿記の知識がなくても、パソコンの助けを借りて伝票を入力すれば、あとは帳簿の作成から決算書まですべてプリントアウトしてくれます。また、より詳しい経営に関する分析資料も出力することが出来ます。

しかし、こんなに便利になったことで問題も起こりました。せっかく揃った決算書や経営の分析資料を十分に使いこなせなくて困っているビジネスパーソンが増えているのです。

そして、その多くの人々が、もし、複式簿記の知識を持っていたら、これらの資料を十分に使いこなすことが出来るのにと、残念に思っているのです。

大事なことは、それだけではありません。複式簿記がわかっている、わからないということで、仕事の上で評価が左右されます。複式簿記の知識を持っていることは、それだけ価値があることなのです。

複雑化した経済社会の中で、ビジネスパーソンにとって、いまほど簿記的なセンスが必要とされる時代はないのです。

(拙著：ビジネスパーソンの常識・複式簿記が分かる「イブと花子」の簿記物語より)

日商簿記3級検定試験では、「複式簿記の仕組み」の理解と「仕訳」がもっとも重要です。「複式簿記の仕組み」と「仕訳」が分かれば、試験合格のスタートラインに立てます。後は集計などの計算力になります。

この講座は、日商簿記3級検定試験問題の「仕訳」ができるレベルになるように、作られています。

この講座の内容は、「複式簿記の仕組み」と「仕訳問題」で構成されています。

1、「複式簿記の仕組み」について

[「試験問題を解く前に・・・複式簿記の仕組み」](#)

(拙著：ビジネスパーソンが分かる「イブと花子」の簿記物語

より)

2、仕訳問題

1、試算表作成のための仕訳問題 [「試算表作成のための仕訳問題」](#)

2、精算表作成のための仕訳問題 [「精算表作成のための仕訳問題」](#)

3、帳簿に関する仕訳問題 [「帳簿に関する仕訳問題」](#)

4、伝票に関する仕訳問題 [「伝票に関する仕訳問題」](#)

5、仕訳問題 [「仕訳問題演習」](#)

仕訳問題は、それぞれ(1)イメージ仕訳の基本練習、(2)イメージ仕訳の解答、(3)試験用練習問題、(4)試験用練習問題解答のステップに分けてあります。

「第2問 帳簿に関する問題」に(8)商品有高帳を追加しました。

<http://www.geocities.jp/kateikessan/bokikenntei/bokikenntei7.html>

「第3問 試算表 出題形式参考」を追加しました。

<http://www.geocities.jp/kateikessan/bokikenntei/bokikenntei11-5-1.html>

「第5問 精算表 出題形式参考」を追加しました。

<http://www.geocities.jp/kateikessan/bokikenntei/bokikenntei13-2-4.html>

「簿記3級と簿記1級・2級の報告書の違い」を追加しました。

<http://www.geocities.jp/kateikessan/bokikenntei/bokikenntei10-1.html>

これから、日商簿記3級を受検される方、また、受検しようと思っていられる方は、ぜひ、この「**日商簿記3級100%合格目標講座**」を、受講してみてください。

日商簿記3級の概要は以下のとおりです。

(参照)

商工会議所の検定試験 <http://www.kentei.ne.jp/>

東京商工会議所検定試験情報 <http://www.kentei.org/boki/>

「簿記とは」

簿記は、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。

簿記を理解することによって、企業の経理事務に必要な会計知識だけではなく、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理や分析力が身につきます。また、ビジネスの基本であるコスト感覚も身につきますので、コストを意識した仕事ができるとともに、取引先の経営状況を把握できるために、経理担当者だけではなく、全ての社会人に役立ちます。さらに、公認会計士や税理士等の国家資格を目指す方や他の資格・検定と組み合わせてキャリアアップを考えている方々にも必須の資格といえます。

現在、多くの企業が社員に対して簿記検定の資格取得を奨励しているほか、大学や短大の推薦入試、単位認定の基準に採用されていることなどから、年間で約60万人の方々が受験する「日商簿記」として社会的に高い信頼と評価を得ています。このような実績を踏まえ、先ごろは、若年者の就職を支援する厚生労働省の「YESプログラム」において、企業が採用にあたって重視している就職基礎能力の1つである「資格取得」に選定されたところです。

試験終了後には毎回、その問題を出題した意図や共通して誤りの多かった事例などを公表していますので、学習のための参考資料として活用し、検定試験にチャレンジしてください。特に最近の受験者を見ると、予想以上に過去の問題の出題パターンをなぞった学習に終始している傾向がありますので、過去の出題内容ばかりでなく、出題区分表の範囲全般にわたって学習するとともに、新しい会計基準等についての勉強が望まれます。

「このような方々の役に立ちます」

- 企業の経理・会計担当者
- 利益率を重視する営業担当者
- コスト管理を求められる管理者
- 取引先企業の経営状態を把握したい人
- 公認会計士や税理士等の国家資格をめざす人
- 税務申告を自分で行いたい人
- 有価証券報告書等を分析して資産運用を図りたい人

「このような効果が期待できます」

- 自社の長所や短所を分析できる
- 費用や収益率を意識するようになる

- 取引先企業の経営状況を把握できる
- 正しく帳簿をつけられる

日商簿記とは？

経理事務と経営状況を把握する基礎技能は社会人として必須
簿記の知識は、経理事務や、財務会計部門に限らず、現在や将来の利益を計る
財
務諸表や企業会計の法規を理解し、経営管理・経営分析を行うための基礎技能
で
す。
この技能の修得により、事業収支の分析や企画書の作成などさまざまなビジネ
スシ
ーンで活用できます。多くの企業が採用や人事異動の判断に活用したり、自己
啓発
として取得を奨励しています。

各級の基準

3級

財務担当者に必須の基本知識が身につく、商店、中小企業の経理事務に役
立つ。

経理関連書類の読み取りができ、取引先企業の経営状況を数字から理解でき
るよ
うになる。営業、管理部門に必要な知識として評価する企業が増えている。

級	試験科目	制限時間	合格基準
3級	商業簿記5題以内	2時間	70%以上

受験料

2,500円(税込)

日商簿記3級検定試験状況

3 級

回	受 験 者 数	実 受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
136 (H26)	9,292	3,367	850	9.0%

1 3 5 (H 2 5 .11119. ,1703)36, 名	8415名	0	4 8 名	0 %
1 3 4 (H 2 5 .161.09 ,) 18950, 名	8259名	0	3 5 名	9 %
1 3 3 (H 2 5 .120.92 ,44)8743, 名	4363名	5	3 9 名	5 %
1 3 2 (H 2 4 .11212. ,1405)58, 名	4370名	6	2 2 名	9 %
1 3 1 (H 2 4 .160.71 ,03)8730, 名	0394名	2	4 4 名	1 %
1 3 0 (H 2 4 .120.72 ,63)8206, 名	8379名	6	4 9 名	1 %
1 2 9 (H 2 3 .11315. ,2400)005名	15026, 名		2 6 名	8 %
1 2 8 (H 2 3 .16.81, 29)735, 名	9314名	0	3 5 名	6 %
1 2 7 (H 2 3 .12.92, 09)715, 名	7277名	9	3 0 名	7 %
1 2 6 (H 2 2 .14.8. , 2141)27名	15820, 名		4 4 名	5 %
1 2 5 (H 2 2 .164.41 ,34)18103名	23619, 名		2 2 名	9 %
1 2 4 (H 2 2 .122.62 ,82)9356, 名	9127名	9	0 6 名	8 %
1 2 3 (H 2 1 .11410. ,1254)058名	45239, 名		2 9 名	6 %
1 2 2 (H 2 1 .16.61, 01)8017名	04040, 名		4 7 名	2 %
1 2 1 (H 2 1 .122.22 ,22)9833, 名	5532名	7	3 6 名	5 %
1 2 0 (H 2 0 .11315. ,1561)053名	34313, 名		4 9 名	2 %
1 1 9 (H 2 0 .161.88 ,) 49717, 名	2226名	9	2 9 名	5 %
1 1 8 (H 2 0 .120.92 ,48)8036, 名	1321名	7	3 8 名	2 %
1 1 7 (H 1 9 .11213. ,1205)53, 名	9259名	9	3 4 名	2 %
1 1 6 (H 1 9 .161.01 ,02)8859, 名	7326名	5	4 2 名	5 %
1 1 5 (H 1 9 .928. ,2253)774名	05296名	0	8 5 名	2 %
1 1 4 (H 1 8 .11211. ,1406)35, 名	9402名	4	2 8 名	2 %
1 1 3 (H 1 8 .160.21 ,10)7886, 名	4207名	5	2 9 名	0 %
1 1 2 (H 1 8 .120.52 ,66)8305, 名	7307名	4	4 6 名	4 %
1 1 1 (H 1 7 .11115. ,2309)91, 名	8129名	5	2 4 名	9 %
1 1 0 (H 1 7 .160.11 ,22)7794, 名	2456名	5	2 6 名	3 %
1 0 9 (H 1 7 .922. ,2677)760名	26222名	3	5 5 名	8 %
1 0 8 (H 1 6 .11118. ,2906)41, 名	8410名	3	4 2 名	7 %
1 0 7 (H 1 6 .969. ,1532)799名	16130名	8	2 0 名	7 %
1 0 6 (H 1 6 .920. ,2420)772名	27375名	7	4 9 名	5 %
1 0 5 (H 1 5 .11111. ,1905)02, 名	6397名	0	2 5 名	9 %
1 0 4 (H 1 5 .160.28 ,) 88645, 名	0295名	2	9 9 名	0 %
1 0 3 (H 1 5 .920. ,2236)792名	50280名	1	2 3 名	8 %
1 0 2 (H 1 4 .11016. ,1481)53, 名	1227名	7	8 2 名	5 %
1 0 1 (H 1 4 .965. ,95) 2727名	66441名	9	5 4 名	0 %

(参考) 日商簿記3級検定試験日程表

第137回	平成26年 6月8日(日)
第138回	平成26年 11月16日(日)
第139回	平成27年 2月22日(日)

2、ビジネスパーソンに必要な複式簿記の知識

現在、複式簿記の検定試験には、学生を含めて毎年数十万人の人が受験しているといわれています。また、社会人となると、「会社では、せめて複式簿記3級程度の知識が必要だよ」と、よく言われます。それは、会社のすべての行為が、複式簿記と関係しているからです。

たとえば、会社の車を使って、ガソリン代1万円を現金で支払った場合には、損益計算書に費用科目として車両関係費1万円を計上し、貸借対照表に資産科目の現金1万円を計上（減少）します。

また、得意先から注文がとれ、商品50万円を掛けで売った場合には、損益計算書に収益科目として売上50万円を計上し、貸借対照表に資産科目として、売掛金50万円を計上します。

同時に、キャッシュフロー計算書の現金は、1万円減少し、売掛金50万円は、代金が回収されるまでは、キャッシュの入金は0円となります。

車両関係費と現金、売上と売掛金というように、科目を通じて3つの決算書はそれぞれつながっています。ですから、会社の経営状況を見極めるには科目の処理方法を、正しく認識する必要があります。

この科目の処理方法を複式簿記では「仕訳」と言っています。したがって、仕訳が分かれば決算書が読めるといえます。

現在、伝票入力さえすれば、複式簿記の知識がなくても、パソコンの助けを借りてすべて計算をしてくれ、帳簿から決算書までプリントアウトしてくれます。また、より詳しい経営に関する分析資料も出力することが出来ます。

しかし、伝票入力をするときの科目の処理方法（仕訳）を知らないために、せっかく揃った決算書や経営の分析資料を十分に使いこなせない人が増えているのも事実です。複式簿記の科目の処理方法（仕訳）の知識がなければ、これらの資料を十分に使いこなすことは出来ません。まさに、「仕訳」が分からなければ、決算書を読むことはできません。

「仕訳」とは、取引を記録する方法のことで、通常、複式簿記では左側を「借方」・右側を「貸方」と言う簿記用語を使って仕訳をしています。

例えば、ガソリン代1万円を現金で支払った場合には、次のように仕訳されます。

借方(左側)	貸方(右側)
--------	--------

車両関係費	10,000円	現金	10,000円
-------	---------	----	---------

複式簿記は、会社のすべての取引を、原因と結果という2つの側面から把握していくものです。給料を現金で支払った場合には給料という費用科目が発生しますが、一方で同じ額だけ現金が減少します。

この原因と結果という2つの側面を記録し、集計し、決算のときに貸借対照表と損益計算書に分けて作成するシステムが、複式簿記のシステムです。複式簿記によって作成された貸借対照表は、企業の財政状態を示し、損益計算書は、企業の1年間の経営成績を示すものです。

あなたが、もし、営業マンとして得意先を回り、自社の商品を販売するために、会社を一步出たとします。会社から得意先まで会社の車を使用したとすると、ガソリン代は車両関係費、車の減耗は減価償却費、商品の注文が取れたときは注文請書を書きますが、その用紙は消耗品費、とあなたの行為はすべて会社の行為であり、すべて複式簿記と関係してくるのです。

そして、得意先から注文がとれ、商品を納品して納品書を発行し、売上傳票で売上を計上する場合でも、売上代金の回収方法が、現金の場合は、現金売上、月末締め、翌月末払いの場合には、売掛金売上になります。これらの処理もすべて複式簿記と関係しているわけです。

このように、ビジネスパーソンとして行動していることのすべてが、複式簿記と関係しているのです。

そこで、複式簿記の基本的な考え方が分かっていないと、何故このような処理をするのか、また、正しい処理はどうすればよいのか、判断することはできません。

そして1年後には、ビジネスパーソンとして行動したことのすべては、会社の決算で、1年間の事業活動の報告書として、決算書（報告書）が作成され、利害関係者の人たちに開示されます。

この報告書（決算書）を会社では、財務諸表といい、貸借対照表と損益計算書から構成されています。（キャッシュフロー計算書を含めることもある）

この貸借対照表の項目（資産、負債、資本）の増減と損益計算書の項目（収益、費用）の発生、消滅について記録、集計する記帳システムが複式簿記なのです。

このように見てくると、複式簿記の知識は、会社に関係している人の「基本」であり、また、「常識」であると言えます。

もし、複式簿記を勉強したことがないとか、良く理解できていないという人がいらしたら、是非

、複式簿記の知識を身につけて欲しいと思います。

3. 家庭と会社の関係

会社の財産の状況や損益を明らかにするための報告書を、「財務諸表」と言います。財務諸表は2つの表からできています。その1つは貸借対照表で、もう1つは損益計算書で、貸借対照表は会社の財産の状況を明らかにし、損益計算書は会社の一年間の経営成績を明らかにします。

貸借対照表と損益計算書の2つが一体となって財務諸表は構成されており、どちらか一方が欠けると会社の経営には役立ちません。

一方、家庭の財産の状況や消費損益を明らかにするための報告書を、「家庭決算書」と言います。

家庭決算書は2つの表からできています。その1つは財産対照表で、もう1つは消費損益計算書で、財産対照表は家庭の財産の状況を明らかにし、消費損益計算書は家庭の消費損益を明らかにします。

財産対照表と消費損益計算書の2つが一体となって家庭決算書は構成されており、どちらか一方が欠けると家庭の経営には役立ちません。

財務諸表は、1年に1度、「商業簿記・工業簿記」によって決算をして作ります。

そして、この財務諸表は一年で終わることなく、今年終えた貸借対照表の結果をそのまま翌年へ繰り越して（つなげて）いきます。さらに翌年、会社の経営活動を記録していくことで、再来年またその次の年へとつなげていくことになります。

家庭決算書は、1年に1度、「家庭簿記」（家庭用複式簿記）によって決算をして作ります。

そして、この家庭決算書は一年で終わることなく、今年終えた財産対照表の結果をそのまま翌年へ繰り越して（つなげて）いきます。さらに翌年、家庭の消費活動を記録していくことで、再来年またその次の年へとつなげていくことができます。

私たちの家庭生活は一年で終わりではありません。これから先、何年、何十年という長い家庭生活を送るわけです。そのなかで、自分たちの家庭生活がどのように変化したのか、その歴史を記録しておくことは有意義なことです。

それは自分たちの財産の歴史が継続的に記録されるのと同時に、自分たちの家庭の歴史も継続的に記録されることにつながるのです。

いままで複式簿記は、主に会社などの経理を担当する人が勉強すればよいと考えられてきました。複式簿記の検定試験や税理士・公認会計士の試験に合格し、就職などに有利になるということで、複式簿記の勉強をするものだと考えられてきました。

このような複式簿記は、商業簿記や工業簿記と呼ばれています。

商業簿記・工業簿記と家庭簿記（家庭用複式簿記）とは、どう違うのでしょうか。

その主な違いは、次のような点にあります。

商業簿記・工業簿記では、仕訳に借方（かりかた）、貸方（かしかた）という用語を使っていますが、家庭簿記では、仕訳に左方（ひだりかた）、右方（みぎかた）という用語を使っています。

商業簿記・工業簿記で作られる報告書を財務諸表と言い、貸借対照表と損益計算書から構成されています。

一方、家庭簿記で作られる報告書を家庭決算書と言い、財産対照表と消費損益計算書から構成されています。

また、会計とは、特定の経済主体の構成員が営む経済活動およびこれに関する経済的事象を、主として貨幣額で測定し、記録し、かつ伝達する行為であり、その目的、内容は、経済主体の構成員の意思や要求によって決まるものだと言われています。

商業簿記・工業簿記の経済主体である会社の目的は利益にあります。家庭簿記の経済主体である給与所得者の目的は消費満足にあります。

そこで、家庭の経済主体である給与所得者と会社（法人）という経済主体との関係について見てみると、次のようになります。

「家庭と会社の関係」

	家 庭	会 社
複式簿記	家 庭 簿 記 (家庭用複式簿記)	商 業 簿 記 工 業 簿 記
仕訳の用語	左方（ひだりかた） 右方（みぎかた）	借方（かりかた） 貸方（かしかた）
報 告 書 (決算書)	家庭決算書 (財産対照表・ 消費損益計算書)	財 務 諸 表 (貸借対照表・ 損益計算書)
目 的	消 費 満 足	利 益
会 計	給 与 会 計	企 業 会 計

対 象

給 与 所得者

株式会社・合資会社

合名会社・合同会社

会社だけでなく家庭でも、決算書を使って経営分析をし、経営に対する評価や反省をして、今後のあり方を考え、将来の計画を作成していくことが必要です。したがって、この決算書の基本である複式簿記の知識は、会社や家庭経営にたずさわる人の常識と言えます。

複式簿記を知らずに、正確な会社や家庭の経営分析や利益計画などは、できるわけがないと言っても、言い過ぎではないでしょう。このように、決算書と複式簿記は密接不可分の関係にあるのです。

4、家庭簿記（家庭用複式簿記）

私たちは、家庭生活をしていると、日々、必ずお金やものの出入りがあります。家庭生活におけるお金やものの出入りが、家庭の財産にどのような影響を与えるかということを理解していると、例えば、代金の支払方法によって、家庭の財産に与える結果がどんなに違うかを予測することができます。

従来、お金やものの出入りを記録するための方法として、お小遣い帳や家計簿が利用されてきましたが、経済が発達し、現金だけでなくカードによる取引とかインターネットによる取引など取引が複雑になった現在、今までのようなお小遣い帳や家計簿では対応が難しくなっていました。

そこで、この変化に対応したお金やものの出入りを記録するための方法として、「家庭簿記」を考えました。

「家庭簿記」とは「家庭用複式簿記」のことで、複式簿記の考え方を、家庭で、楽に、有効に使えるようにしたものです。

では、なぜ、いま、「家庭に複式簿記」が必要なのでしょうか？
それは、複式簿記が人間の経験と知恵によって作られた最高傑作のひとつであり、いまこそ、家庭において複式簿記を大いに活用して、幸せをつかむべき時代だからです。

複式簿記というと、難しいと思うかもしれませんが、複式簿記は、決して、難しくありません。

例えば、スーパーの食品売り場で、今晚のおかずにお肉と野菜を買って、その代金として現金1,000円を支払ったとします。通常、私たちは、この買い物を、現金1,000円を使ったので、現金が1,000円減ったということだけで済ませてしまいます。

しかし、複式簿記では、この買い物を二つの面から考えます。第一に、お肉と野菜を入手したという一面と、次に、現金が減少したという一面という二つの面に分けて考えます。

すなわち、

- (1) 肉と野菜が、1,000円分増加した
- (2) 現金が、1,000円減少した

というように2つの面に分けて考えるのです。

つぎに、この2つの面を、家庭簿記では、複式簿記の約束ごとに従って、次のように表します。

左 方 (ひだりかた)	右 方 (みぎかた)
肉と野菜 (食料費) 1,000円	現 金 1,000円

また、この場合、はじめに、全財産が、現金だけで5,000円だったとすると、きょう、お肉と野菜に1,000円使ったので、全財産は、4,000円になります。

4、家庭簿記（家庭用複式簿記） 2

では、この取引で、あなたの財産にどのような変化があったのでしょうか。
これを家庭簿記では、次のように表示します。

「はじめの財産対照表」

左方（ひだりかた）		右方（みぎかた）	
資 産（現 金）	5,000円	負 債	0円
		正味財産	5,000円

「今日の取引」

左 方（ひだりかた）		右 方（みぎかた）	
肉と野菜（食料費）	1,000円	現 金	1,000円

「今日の財産対照表」

左 方（ひだりかた）		右 方（みぎかた）	
資 産（現 金）	4,000円	負 債	0円
		正味財産	4,000円*

「今日の消費損益計算書」

左 方（ひだりかた）		右 方（みぎかた）	
消 費	1,000円	収 入	0円
当期消費損益	-1,000円		

* 正味財産（5000円－当期消費損益1000円＝4000円）

このように、家庭簿記を使って、家庭生活におけるお金やものの出入りを記録して、家庭の財産の状況や消費損益を明らかにするための報告書（家庭決算書）を作れば、財産が増えたのか減ったのか良く分かり、もっと財産を増やすためには、そして、将来の夢を実現するためには、どこをどうやって工夫すればよいのかという、計画を立てるのに役立ちます。

また、家庭簿記を使えば、家庭の財産と損益の状況を表す報告書（家庭決算書）がどのようにして作られるか、その方法を容易に理解できます。そして、家庭経営でこの家庭決算書を有効に利用することができるようになります。

(参考)

家庭用複式簿記を使った2014年版新・家庭経営ソフト「家庭決算書」が、
(株)ベクターで発売されています。

是非、ご利用下さい。

1ヶ月の無料試用期間があります。

ソフト名 2014年版新・家庭経営ソフト「家庭決算書」

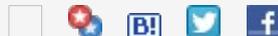
:

動作OS : Windows 8/7/XP

機種 : IBM-PC

種類 : 製品 : 試用可 : 5,040円

作者 : [\(有\)家計会計協会](#)



家庭用複式簿記で経営に役立つ会計情報を提供するソフト

商品番号 **SR343680** New



商品名 2014年版新・家庭経営ソフト「家庭決算書」

商品区分 ダウンロードソフト

販売価格 **5,040円(税込)**

メーカー [有限会社 家計会計協会](#)

お支払手続き完了後ライセンスキーをお送りします

※下記の商品情報を必ずご確認の上、ご注文ください。

[カートで購入する](#)

[\[カートで購入する\]](#)

